

# 延岡学園高

## ドイツ選手

# 調理科生ら 和洋29品でおもてなし

# 「すごい!おいしい!」

延岡市で合宿中のドイツ柔道連盟男子代表は14日、同市大峽町の延岡学園高(柳田光寛校長)で交流事業を行った。選手たちは、同校調理科2年生が準備した和洋29品目の料理を「すごい!おいしい!」と堪能した。



調理科の生徒が準備した料理を取り分けるドイツの選手たち(14日、延岡学園高)



書道などで交流する延岡学園高の生徒とドイツの選手

まずは、案内役の1年生は、5、6人の班に分かれた。5、6人の班に分かれ、英語で自己紹介し、それぞれの取り組むスポ

ーツなどについて自由に会話。書道なども笑顔で体験した。

その生徒たちの案内で調理室へ。そこでは、2年1組(調理科)21人が

料理の説明を聞きながら、自分の皿に取り分けた。おかわりもして、スイーツまで食べた選手たち。プラーキー・モーリツ選手(22)は「菓っぱの形をしたデザート(リンゴのタルト)が初めて食べておいしかった。書道も楽しく、東京五輪へ

向け、準備が進み、楽しい雰囲気になってきているのを感じる。延岡は大好きな海が近く人も優しく、食べ物もおいしい。ここで成長し、東京で勝ちたい」と話していた。調理科の黒木朋果さん(2年)は「ドイツの選手のために洋風のデザートを考えると、甘さと食感

が特徴のリンゴのタルトを作った。形が崩れやすいので丁寧に仕上げたという。そうだった。

# 知事表彰 祝子川漁協が受賞

県庁

## 3/15 ボランティア美化活動に貢献

河川や海岸、港湾でのボランティア美化活動に貢献した団体への知事表彰式が14日、県庁であり、延岡市の祝子川漁業協同組合(江上敬司組合長、



祝子川漁協の江上敬司組合長(左)ら被表彰者と河野知事

87人など3団体が受けた。同漁協は、平成15年に延岡商業高校野球部、河川整備の建設業者と祝子

川のごみ拾いを開始。活動の輪が広がり、現在は黒岩地区青少年育成連絡協議会(通称・せせくる会、西村敏明会長)をは

じめ、地域ぐるみによる200人規模のボランティア活動にまで発展させた。

河野知事は「皆さんを

モデルとして、全県に活動を広めたい」と激励。江上組合長は「せせくる会や組合員ら皆さんの協力で感謝したい。安全、

安心な漁場の確保や不法投棄防止、青少年育成などを目的に今後もずっと続けていきたい」と激励にこたえた。